



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2019.4月号



春期特別展

民具の物語

ひとつひとつの民具にそれぞれのストーリーがある……

◆会期 平成31年5月6日(月・休)まで ◆会場 特別展示室

写真は南金目の方から寄贈されたメガネとモリです。金目川で箱メガネが使用された物証となる資料であり、メガネを用いて長さ2mものモリで突くほどむかしの金目川には深い場所があったことが推察できます。メガネもモリも3点とも大きさと形が異なります。それにはどんな意味があるのでしょうか。またこれでどんな魚を突いたのでしょうか。川漁の経験のある方に見てもらえば手がかりがつかめるかもしれません。いちばん確かなのはこの道具を使った人かつくった人に話を聞くことです。幸いなことにこのモリとメガネについては寄贈者の方から詳しく教えていただくことができました。

メガネは左の短いものが最も古いのですが、川へ深く入れたほうがよく見えるので中央の長いメガネに変えたそうです。長くすると水の抵抗を強く受けるのでメガネを押しえづらくなりました。そこで右端のようにプリキを付けて川上に向けて水の抵抗を弱めました。このように改良を重ねた跡がメガネの形の変化に表れているのです。

このメガネを左手に持って水中をのぞき、右手のモリで突いた魚はウグイでした。むかしの金目川には3~4mも深い所があり、冬はその深んぼにウグイが潜んでいたそうです。また、メガネの中に水が入らないようにガラス面のすき間に接着剤のようなものが塗られています。これについてもひとつ話があるのですが、続きは展示会場でお確かめください。

このようにモノを見ただけではわからないことが、製作者・使用者・寄贈者からお聞きできれば確かなことがわかり、ひとつの民具から多くの情報を引き出すことができます。それが、今回の特別展で紹介する民具たちが共通して持っている付加価値です。

特別展関連行事

◆記念講演会「生きざまを伝える民具、生き方を伝える博物館」

日時：4月14日(日曜日)午後2時~4時 会場：博物館講堂 参加自由 定員：先着60名

講師：堀 充宏 氏(葛飾区郷土と天文の博物館学芸員)

内容：ライフヒストリーという手法を通して人々の語りにも耳を傾けることの大切さを豊富な具体例を挙げてお話いただきます。今日の民俗学の真髄に迫る講演です。

◆講座「民俗資料収集の現場から」 講師：浜野 達也(当館学芸員)

日時：4月28日(日曜日)午前10時~11時30分 会場：博物館講堂 参加自由 定員：先着60名

◆特別展展示解説 日時：4月6日(土)、5月4日(土) 各回午後1時~1時50分 参加自由 会場：特別研究室

4月の休館日：4月1日、8日、15日、22日、30日

GW中の開館情報は2ページ➡

寄贈品コーナー展示

写真で振り返る平成のひらつか

会期：4月11日(木)～5月8日(水)

平成時代、平塚市でもいろいろな出来事がありました。

この展示は平成最後の月を機会に平塚市の平成時代の出来事を写真で振り返ります。



平成8年(1996)5月 日向岡トンネル完通式 完通を祝う日本酒樽が担がれてトンネルの中を練り歩いた。



平成23年(2011)3月 東日本大震災の被害 総合公園の転倒した多層塔。

自然教室「春の総合公園」

葉が開いたり、花が咲いたり、春は植物が大きく変化する季節です。公園を歩きながら春の様子を観察します。



ヤマナシの芽吹き(3月5日)

場 所：平塚市総合公園
日 時：4月20日(土)
午前9時30分～午前11時30分
定 員：15名(応募多数の場合抽選)
小学生以下は保護者同伴のこと。
参加申込：往復はがきまたは e-mail：muse-event@city.hiratsuka.kanagawa.jp に行事名、住所、氏名、電話番号を記入してお申込みください。
締 切：4月12日(金)(当日消印有効)

相模川流域ジオツアー入門

南金目から片岡にかけて歩いて地形や史跡を観察し、金目川がなぜ、どのように流れを変えていったかを学びます。



第1回「流れが変わった金目川」

行き先：南金目～片岡
日 時：4月20日(土) 午後1時～午後4時
定 員：20名(応募多数の場合抽選)
参加申込：往復はがきに行事名・住所・氏名・電話番号を記入してお申込みください。
締 切：4月10日(水)(当日消印有効)
備 考：雨天時中止

国際博物館の日・地質の日記念

博物館こどもフェスタ 2019

毎年恒例の博物館こどもフェスタ。今年は5月6日(月)に開催します。終日親子で楽しめるイベントを盛りだくさんに用意しております。皆さまのご来館をお待ちしています。



古代生活体験「火起こし」



郷土かるた大会

<開催予定イベント>

サメの歯化石のレプリカを作ろう
むかしの子ども遊び
水ロケットを打ち上げよう
鳥のステンシルカードで遊ぼう
プラネタリウムこどもフェスタスペシャル
ぶたいうらたんけんツアー
なつかしの民具体験
郷土かるた大会
古代生活体験「火起こし」 など

GWの 開館情報

4月				5月						
27(土)	28(日)	29(祝)	30(休)	1(祝)	2(休)	3(祝)	4(休)	5(祝)	6(休)	7(火)
○☆	○☆	○	休館	○	○	○	○☆	○☆	○	休館

○開館 ☆プラネタリウム一般投影

サザンクロスへの旅

サザンクロス…南十字星(みなみじゅうじ座)といえは私たち北半球に住んでいる人たちにとって憧れの星座の一つです。そして南十字星の旬は北半球の“春”つまり“これから”なのです。本投影では、南天の星空をご覧いただきながら、そこに広がる星座と、魅力的な南天の天体たちを紹介します。

<投影情報>

投影期間：4月3日(水)、4日(木)、4月6日(土)～6月2日(日)の土日
 投影時間：午前11時、午後2時(5月11日以降の土曜日午前11時の回を除く)
 観覧料：200円(18歳未満・65歳以上無料) / 定員：70人 ※注意事項は4ページ参照



みなみじゅうじ座にある散開星団“宝石箱”
 ©ESO

プラネタリウム特別投影 星空散歩・春



科学的な話より、星や星座の話をたっぷり聞きたい!…そんな人のために、星空を50分間たっぷりご覧いただける投影です。4月～6月は、それぞれの時期に見やすい星座や見ごたえのある天体の見つけ方、直近に見られる天文現象の見方をご紹介します。



- 投影日時：4月7日(日)、5月5日(日)、6月2日(日)
 各15時30分～16時20分(開場は15時20分)
- 観覧料：200円(18歳未満65歳以上無料) ● 定員：70人
 ※注意事項は4ページ参照

今年のアポロ11号月面着陸50周年!

天文学入門講座「月の科学と文化」

今年アポロ11号が人類史上初の月面着陸を成し遂げて50年という節目の年。そこで本年度の天文学入門講座は「月」をテーマにお話します。科学と文化の両面から月を徹底解剖!本講座に参加して、2019年、月についてとことん詳しくなってしまいましょう。全6回の講座ですが、1回だけの受講も可能です。

- 日時： 第1回「月のキホン」 4月13日(土) 第2回「月の誕生のなぞ」 5月11日(土)
 第3回「月探査の歴史①」 6月16日(日) 第4回「月探査の歴史②」 7月20日(土)
 第5回「月に残された謎」 8月17日(土) 第6回「月の文化」 9月14日(土)
 各15時30分～17時(開場は15時15分)
- 会場：講堂
- 講師：塚田 健(当館学芸員) ● 定員：50人(先着順) ● 参加：自由・無料

知られざる太陽系外縁部の姿とは?

最新天文学講座「太陽系の果てを探る」

小型望遠鏡による小さな太陽系外縁天体の発見や探査機ニューホライズンズによる“ウルティマ・トゥーレ”の近接探査など、こここのところ太陽系外縁部の話題が尽きません。本講座では、近年、明らかにされつつある太陽系の果ての姿を解説します。

- 日時：4月27日(土) 15時30分～17時(開場は15時15分) ● 会場：講堂
- 講師：塚田 健(当館学芸員) ● 定員：50人(先着順) ● 参加：自由・無料

